

「花の種銀行」便り

第24号

H24.8.1



【花を育て隊作業風景】 7月12日、常田新橋花壇の草とりをしていただいた時の写真です。

暑い時間を避けるため、今年は朝6時から作業をお願いしましたが、多くの皆さんに参加していただき、きれいな花壇となりました。

第6回「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します

花づくりを通じて、美しく潤いのある快適なまちづくり、地域づくりを進めるため、今年も「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します。

自薦・他薦は問いませんので、会員の皆様も奮ってご応募ください。

対 象

- ◆団体部門 / 自治会・育成会などの各種団体が管理する道路沿いの花壇、プランター等
 - ◆個人部門 / 個人が管理する庭や玄関アプローチ、壁面など
 - ◆学校部門 / 学校や緑化委員会などが管理する花壇、プランター等
- ※応募期間内に咲いている花が対象です。

応募方法

公園緑地課または丸子・真田・武石の各地域自治センター建設課にある応募用紙に必要事項を記入し、写真を添えて応募してください。

応募期間

平成24年7月17日（火）から8月10日（金）まで

詳しくは上田市役所公園緑地課までお問い合わせください。（電話：0268-23-5134）

○種のまき方

移植を嫌うものは直まき、それ以外は箱まきにして育苗してから植えつけるのが一般的です。

箱まきの場合、種をまく容器は、下から余分な水が抜けるものであれば何でもよいです。(プランター、ポット、プラスチックのトレーにネットを敷いたものなど)

土は、市販の「プランターの土・培養土」を使うと簡単です。

まき床を平らに均し、水をたっぷりかけてから、そこに種まきをします。

<条(すじ)まき>

まき床に板や棒などで浅い溝をつくり、指でねじり落とすようにしてまきます。

<ばらまき>

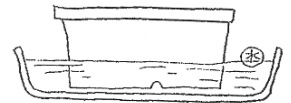
古いハガキなどを折ってその上に種を乗せ、紙を指でトントンたたきながら全体にばらまきます。



覆土(種にかける土)は、種の大きさの約3倍の厚さです。ただし、好光性の種(アゲラタム、インパチエンス、金魚草、ハナタバコ、ベゴニア、ペチュニア、ナデシコなど)は薄めに覆土し、反対に嫌光性の種(金せん花、日々草、ニゲラ、ネモフィラ、百日草、花菱草、ルピナスなど)は厚めに覆土します。

種まき後は、種に影響を与えないようになるべく目の細かいジョロなどでやさしく水をやります。また、容器の下から水を吸わせてもよいです。(腰水)

発芽するまで(1~2週間)は、乾燥に気をつけます。



○ポット上げ

葉が4枚くらい出そろったら、ポット(7.5センチ)に植えます。用土は肥料分を含むものを使用します。幼苗をまき床から根を切らないようにやさしく掘り取り、ポットへ植えつけます。



根は傷つけないように!

○植えつけ(定植)

ポットの底から根が見えてきたら、プランターか庭に植えつけます。

○植えつけ後の管理

花に直接水がかからないように水をやります。

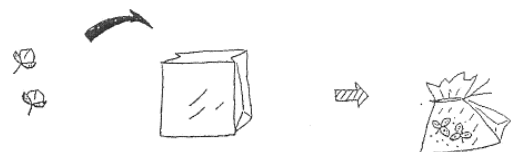
花をできるだけ長い期間多く、見事に咲かせたい場合は花ガラ摘みや切り戻しをします。

種は自然に交配する場合がありますが、確実に採りたい場合は柔らかい筆か綿棒などでオシベ(花粉)とメシベを交互に触ってやると受粉しやすくなります。さらに、違う花の花粉を付けた方が効果は高くなります。

また、花が咲いてから種が実るまでには1~3ヶ月必要なので、種を採る花は摘まないようにします。

○種採り

種が熟したら花ガラごと収穫し、紙袋などに入れて日陰か室内で充分乾燥させます。乾燥後、種とサヤ、花びらなどを分け、種だけを紙袋などに入れて冷暗所で保存します。



活動状況

「種から育てる花づくり講習会」を開催

上田市農業バイオセンターの武田正男先生を講師にお迎えし、3月15日に中央公民館において基本編の講習会を開催しました。

花の特徴や上田に適した花づくりを、気温や土の種類・肥料などの基本的なことから丁寧に教えていただき、参加者からは非常にわかりやすかったと大好評でした。

また、5月10日には上田城跡公園芝生広場において種まき実技編を開催しました。

先生からポイントの説明を受けた後、種まきを実際に行い、その後先生が育てた苗を使ってポット上げを体験しました。



種まきをした成果はどうでしたか？皆さんの結果を教えてくださいたいと思います。

「花を育て隊」活動状況

今年も6月18・19・21日の3日間、常田新橋・上田駅前・城跡公園の花壇に夏苗の植え付け作業を行いました。



今年も城跡公園の作業に、聖マリア幼稚園の園児10名も参加して、一緒に花を植えました。



また、今年で4回目となる花壇の草とりを7月12日に常田新橋にて、13日に上田駅前にて実施しました。

ビオラを片づける時に草も丁寧に取りましたが、気温も上がってきて適度に雨も降ると、花を植えてから3週間後には、きれいな緑のじゅうたんになっていました。

暑い時間を避けるため、今回は朝6時からの作業をお願いしましたが、皆さん都合をつけてご参加いただき、ありがとうございました。

欠株も少なかったため、今年は素晴らしい花壇になるのでは？と期待をしています。



(常田新橋南側、草とり作業後の花壇)

植え付け・草とりに参加してくださった皆さま、本当にお疲れさまでした。

「花を育て隊」のボランティアは常時募集しております。

参加ご希望の方は電話、FAX、はがきで公園緑地課までお申し込みください。作業日程をご連絡しますので、都合のよい日にご参加ください。次回はビオラのポット上げを10月中旬に予定しております。

その1. 秋まきの種、用意しました！

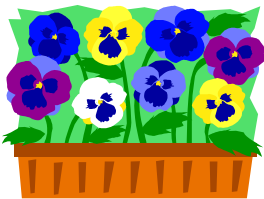
花の種銀行では、これから種まきをする秋まきの種をご用意し、皆さまをお待ちしています。

アグロステンマ、イソトマ、かすみ草、金魚草、金せん花、シノグロッサム、宿根ネメシア、ネモフィラ、ノースポール、花菱草、葉ポタン、パンジー、ビオラ、ポピー、モイワナスナ、ルピナス、ロベリア、ワスレナグサなど

その2. 「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編) 開催

♪パンジー・ビオラが花づくりの基本になりますので、初心者の方、ぜひご参加ください

- 日時・・・8月29日(水) 午前9時30分～11時30分
- 場所・・・国分寺史跡公園(資料館西側広場)
- 講師・・・武田正男さん(元上田市農業バイオセンター所長)
- 申込み・・・8月27日(月)までに電話またはFAXで公園緑地課へ
- 内容・・・パンジー・ビオラ等秋まきの種のまき方、冬の越し方、花の咲かせ方のポイントについて
- 持ち物・・・実際に種まきをしていただきますので、次のものをご持参ください。



- 土(市販の「プランターの土」または「培養土」)
 - 種をまく容器(プランター・鉢など・・・深さが7～10cmあれば十分です)
 - 種(お好きな種を持参するか、事前に「花の種銀行」をご利用ください)
- ※屋外での講習になりますので、帽子などをお忘れなく。

武田先生がこの7月で農業バイオセンターを無事卒業されました。

数年前に定年退職をされた後も嘱託職員として施設に残り、農業振興や公園緑地課の事業(花と緑のまちづくりの推進)にご尽力をいただきました。

個人的には、平成8年に新入職員として農林課(現農政課)に配属されてからずっとお世話になりっぱなしで、花のことをいろいろと教えていただき、ありがとうございました。

現在は、自宅でゆっくり過ごされているようですが、もうしばらくは花づくりのことを教えていただきたいと、勝手に考えています。武田先生もそのつもりでいてくれると思っています。(よろしくお願いします)(担当)



～～～ ご連絡・問合せ先 上田市役所 公園緑地課



TEL 23-5134/ FAX 23-8247

メール: koen@city.ueda.nagano.jp